

おんぼろ

第58号 2023年1月1日発行



撮影 松井健「白髭神社 日の出（滋賀県）」

認定NPO法人 大阪府高齢者大学校

〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35 大阪市教育会館（アネックスパル法円坂）内
TEL：06-6360-4400 URL：<https://osaka-koudai.or.jp>



新年のご挨拶

大阪府 福祉部 高齢介護室

室長 片伯部 真由



明けましておめでとうございます。

皆様にはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年の干支は「癸卯（みずのと・う）」です。癸卯は、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年だと言われます。

長引くコロナ下でも皆様はチャレンジ精神で様々な取組みを続けていらっしゃいます。このためゆめめ努力が実を結び、ご活躍の場がより広がることを願うばかりです。

大阪府高齢者大学校におかれましては、「コーダイを変える、コーダイが変わる、そして私たちも変わる」というキャッチフレーズのもと、ニューコーダイ創造活動を推進しておられます。本年も様々なご活動のもと、貴校がますます魅力的で素晴らしい生涯学習校として飛躍されることを期待しております。

皆様におかれましても、「学び」「仲間づくり」「健康づくり」を3本柱とする「コーダイ」で、かけがえのない仲間や講師の方々と出会い、学ばれた知識や経験を活かして充実した一年を過ごされますことを心より願っております。

認定NPO法人 大阪府高齢者大学校

理事長 古矢 弘道



皆さん、明けましておめでとうございます。

今年はコーダイ創立15周年を迎える記念すべき年であり、多くのコーダイ関係者と一緒になって祝いたいと思います。コーダイの土台をしっかりと支え、ニューコーダイ創造活動の効果も反映しながら、さらにコーダイの未来を明るく切り開いて行きたいと考えています。ニューコーダイ創造活動も3年目に入り、いよいよ本格的に世代交代がスタートする年でもあり、「コーダイを変える、コーダイが変わる、そして私たちも変わる」というキャッチフレーズのようにコーダイが変わっていく様子を少しでも目に見える形で皆さんに実感していただき、卯にあやかり大きく飛躍する年に致します。

同時に今年度からは受講生・CD・スタッフ等コーダイ関係者の「質をもっと高める」ことでコーダイの品位を上げ、さらに誇れるコーダイを実現させます。また、愛称「コーダイ」が世間の人々にもっともっと認知していただけるように皆さんと一緒に活動して参ります。

今後とも皆さんの温かいご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

1 コーダイから「エイジレス章・社会参加章」の受章決定！

内閣府ではエイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送る）を実践している高齢者（エイジレス・ライフ実践事例）や、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等（社会参加活動事例）を毎年募集。その中から内閣府として紹介事例を決定し広く紹介することにより、すでに高齢期を迎え、またこれから迎えようとする世代の生き方の参考としていただくことを趣旨として表章しています。

令和4年度もコーダイから「エイジレス章」2件、「社会参加章」1グループが選ばれ、10月17日（月）コーダイ6階会議室において、「畑川政勝様」「梶明美様」ならびに高大「朗読を楽しむ科」「修了生グループ交流会」の皆様へ、内閣府特命担当大臣名の書状および盾が古矢理事長より代理授与されました。嬉しいことに、エイジレス伝達式が恒例行事になってきています。コーダイの社会への参加活動も徐々に浸透しております。

（広報部 野村 孝子）



この功績は、2022年9月9日の内閣府ホームページで全国に紹介されました。



2 阪神奈ネット主催『公開講座フェスタ2022』に参加



コーダイは昨年に引き続き、『公開講座フェスタ2022』に参加し、11月17日に大阪府咲洲庁舎44階の大会議室で、当校の講師 林和清先生が「紫式部とライバルたち」を講演されました。2024年の大河ドラマの主人公となる紫式部と同年代を生きたライバルについての内容であり、多くの受講がありました。

阪神奈ネットのメンバーは、大阪府と関西の20大学・研究機関で組織され、今年度は17大学・研究機関および「国立民族学博物館」の吉田憲司館長の特別講座がありました。コーダイはネットのメンバーとして、今後も公開講座で当校をアピールするとともに、大学等の各分野の豊富な講師交流を目指したいと考えています。

（戦略企画室 内海 邦彦）

3 認定NPO法人を更新しました

コーダイは、認定特定非営利活動法人の認定の有効期間（5年間）の更新を申請し、実地調査の結果、更新が認められました。引き続き寄附者への税制優遇が適用されます。

（認定の有効期間：令和9年9月13日まで）



受講生インタビュー ★コーダイのキラキラ人

コーダイ生活をエンジョイしながら、充実したシニアライフを送っておられる受講生の皆様を紹介するインタビューの第4弾。今年最初のゲストは、「ボイストレーニングを楽しむ科」を受講されている原口知子（はらぐちともこ）さんです。「陶芸に救われた人生」とおっしゃる原口さんに、その半生をお聞きしました。好きな陶芸にひたむきに情熱を傾け、常に前向きに自らの人生を切り開いて来られた姿に、大きな感銘を受けました。

ー 陶芸を始めようと思われたきっかけは？

原口 若い時からお茶のお稽古をしていて、機会があれば陶芸の勉強をしたいと思っていたのですが、42歳の時に友達に誘われて行った「陶芸初心者体験会」で作陶したところ、魅せられてしまい今に至っています。

習ったのは、最初の1、2年で、2年目には伝統ろくろを習うために、職人さんの工房に行きました。1週間に1回だけ行って、プロが仕事をしている横で、素人の私がテーマを決めて集中的に職人さんに教えてもらいました。

ー よくそんな習い方ができましたね。

原口 当時は今のように素人が専門的に習える陶芸教室がなかったし、できるだけ早く技術を習得したかったので、押しかけてお邪魔したわけです。土や道具もプロの方に頼まないと手に入らなかった時代ですが、4年目には自宅に窯を作りました。新居を建てる時に自分で設計して作ったんです。

その窯で茶碗や食器を創っていましたが、そのうち作品も増えてきたので、作品を飾るために『集』という工房を作りました。すると自然に人が集まってきて、教えてほしいという人が出てきたので、陶芸教室をすることになったのです。まさか人に教えるとは思ってもみませんでしたが、陶芸ブームだったので、多い時には生徒さんが60人ぐらいになりました。

ー すごい行動力！ 54歳で大学にも入られたそうですが、何か思うところがあったのですか。

原口 先ほども言ったように、習ったのは1、2年であとは自分で模索しながらの独学だったので、それが間違っていないかどうか確認したかったです。それで京都造形大学（現京都芸術大学）の通信教育一期生募集の広告を見て、すぐに申し込みました。そこで自分のやり方が間違っていなかったのがわかり、すごく自信を持ってました。

通信教育といっても、教養科目や論文、試験があり、スクーリングでは地方の窯元で修業するので、いい経験ができました。沖縄・有田・伊勢・四国・瀬戸・備前・信楽などなど、いろいろなところに行かせてもらい、そこで、作陶や絵付けをしました。その時の同期とはいまだに付き合いが続いていて、知識だけでなく宝物がいっぱいできました。

原口さんや生徒さんの作品が並ぶ『ギャラリー集』





写真左は、原口さんの工房。下の写真は、高槻市の「えきちかギャラリー」に展示された工房の皆さんの作品。中央のオブジェが原口さんの作品。



— いろいろ大変な時期もあったとお聞きしました。それでも、ぶれずに自分の道を歩んでこられた秘訣を教えてください。

原口 仕事、子育て、親の介護と、めちゃくちゃ忙しかった時期も、時間を見つけて作品を創っていました。のめり込んで37年。よっぽど陶芸が好きだったのでしょね。やめようと思ったことは一度もありませんでした。

人生あがいてもしょうがない。夢は、叶えるものだけど、叶えられなくてもその時の状況に合わせて軌道修正すればいいのです。いくつになっても、年齢に関係なくやり直せます。

逆境の時は、その時に一番いいなと思ったことをしてきたら、後悔のしょうがない。私はやり直しばかりの人生でしたが、どんな時も陶芸があったからこそ救われたのかなと思います。

実は、骨壺を作ったんですよ。死はだれでも訪れるものですから、私はマイナスにとらえずに、「死後の世界も楽しく」という思いで派手で華やかなものになりました(笑)



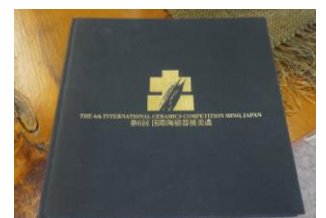
— 自分の骨壺を作るなんてすごいですね。しかもかわいい！ 原口さんは食器からオブジェまで、いろんな作品を創られています。作風やテーマは変わってくるものではないでしょうか。

原口 作風は変わっていきますが、テーマは変わりませんね。私は、ずっと「生きる」というテーマでやっています。お皿一枚でも、それを使って食べることから「生きる」につながる。これからも、土で自分の表現をしたいと思っています。

— 好きなことにポジティブに打ち込むことで、人生が開かれて行ったんですね。うらやましい限りです。これからも益々のご活躍をお祈りしています。 (文責：広報部 野村尚子)



原口さんの代表作の1つ『万物は流れる』(右上)が掲載された「第6回 国際陶磁器展美濃」の図録。



2022年度『ジョイフルゲームズ』開催

教育部門 井本 弘嗣



2022年10月13日（木）、2019年以来3年ぶりに開催されたスポーツ祭。従来の屋内から初めて屋外で行うことにしました。コロナ感染を避け、秋晴れの下で競技を通し仲間作りを図り、体力測定で自身の健康状態を把握する目的で！

今年の受講生の約57%の方は初めて体験するイベント企画でした。当日は晴天に恵まれ（過ぎて少々暑かったが）無事、進行することができました。反面、反省点も数多く出てきましたがこれ等を総括し、次回の課題として検討していくことに。参加者、クラスの役割担当者……すべての方にお礼を申し上げます。

『2022コーダイフェスタ』開催

実行委員長 津川 順司

2022年11月14～18日、3年ぶりに開催されたコーダイフェスタ。コロナの感染防止のため曜日別での開催とし、全受講生の皆様に安心して参加いただけるように各種の感染対策を設けました。受講生の皆様には制限された中で、思い通りの発表ができたでしょうか。他の受講生との交流ができたでしょうか。何か新しい発見があったでしょうか。

以前のように仲間とワイワイ楽しめるフェスタが、またきっとできます。希望をもって、健康でより楽しくするために皆で作って行きましょう。受講生の皆様、CDさん、コーダイの皆様、ご協力ありがとうございました。受講生の「初めてのフェスタ楽しかった。」の言葉にホットしました。



世界の食料・水・環境を支える 株式会社クボタ



株式会社クボタの本社（大阪市浪速区）

私たちが生活する上で欠かせない食料・水・環境。株式会社クボタは、ものづくりでこれらの分野に貢献し、世界の産業と人々の暮らしを支えるグローバル企業です。今回は、コーダイの法人会員様として長年ご支援をいただいているクボタの取り組みについて、人事・総務本部 副本部長兼総務部長の山神孝志氏にご寄稿いただきました。

◆ 「On Your Side」と「One Kubota」

従業員の多様な働き方により、生産性の向上やパフォーマンス向上、そこから生まれる働きがいを感じられる企業を目指す上で、当社で大切にしているキーワードが「On Your Side」と「One Kubota」の2つです。

「One Kubota」とは、各部門全員が一つになってさまざまな課題に挑戦すること、「On Your Side」とは、お客様に寄り添い、お客様の抱える課題を発見し、お客様のビジネスに成功をお届けすることです。その土壌を創るために、自由闊達な意見を様々な立場で議論し、「失敗を恐れずに挑戦できる環境、支援し合える環境づくり」を目指しています。



人事・総務本部
副本部長兼総務部長

山神 孝志 氏

◆ 良好なコミュニケーションづくり

良好なコミュニケーションをつくるには、まずお互いを理解する必要があります。相手の考えに耳を傾け、意見を交わすことでお互いを理解することができ、同じ方向に向かって進んでいくことができると考えています。そのため日々のコミュニケーション活性化は重要であり、各種施策に取り組んでいます。

具体的には、「さん」付け呼称を推奨し、組織の上下意識を緩和し、気軽に本音を言いやすい組織風土醸成を図っています。また、経営層と従業員の双方向コミュニケーションの場としての「タウンホールミーティング」や、上司と部下が1対1で業務内容やキャリアプラン、時にはプライベートな相談も含めて定期的に対話する場としての「1on1ミーティング」などを推進しています。

◆ 挑戦を恐れない企業風土創り

各種施策の実施により、社長・副社長に加え、各役員が直接従業員と対話する機会が増え、タテヨコナメのコミュニケーションのつながりから「トップメッセージの浸透」「従業員の意見の吸い上げ」「組織間の壁の払拭」「上司が部下を支援して、育てる機会の創出」の効果が生まれています。これらが「自社の方針や戦略への共感と参画」や「成長と働きがい」の向上につながり、全社に展開したことで、会社が変わろうとしていることが従業員に伝わったと感じています。

今後とも当社は「良好なコミュニケーション」を通じて、一層挑戦を恐れない企業風土創りを進めてまいります。



醸造を楽しく学ぶ科

CD：佐藤 勝三

「醸造」は食品材料を、微生物によって「発酵」させ熟成させる工程をいいます。人に好まれるものを「発酵」、好まれないものを「腐敗」と言います。醸造は主として酒類・味噌・醤油・お酢などで、当科では醸造の入門から専門的な知識とそれに関する広い範囲を学びます。

講義の内容に合わせ、授業での試飲、味噌づくり体験（白味噌作りは関西のお正月用として好評）、校外学習では、日本酒やワインなどの工場見学もあります。今年から、ロイヤルホテルのセラーバーでの「カクテルの世界」の講義が復活します。大人の世界の雰囲気を味わっていただけそうです。

お酒のクラスだと男性多数と思いがちですが、逆に女性受講生も多く、今年は6割在籍され、女性も楽しく受講されています。受講生&CD、お酒大好き人間で、講義終了後は、クラス・班で、飲ミニケーションで大いに楽しみ親交を深めています。お酒（醸造）に興味ある方には、学べて楽しい講座です。クラスに参加してみませんか。



ローカル文化探検科

CD：川根 美千子

日本は北から南まで縦長の形態で四季があり、様々な文化の違いがあります。ローカル文化探検科は近畿を中心にその地域ごとの異なる気候風土の暮らし、産業、遺産、食、功績、芸能や伝統などの特色に着目した講座です。

身近なところでもあまり知られていない、知っていても気に留めてないローカルな文化はたくさんあるのに驚きます。またそういった文化に携わっていらっしゃる講師の方々は、熱心かつ積極的な活動をしておられて、講座では熱い気持ちが伝わってきます。

次年度は地域産業でのSDGsを含めた私たちができる地産地消の応援を実施していきたいと考えています。また校外学習では、日帰りで地域は限られますが、体験型として出来る限り現地にも出向きます。

「一人ではできなくてもみんなといっしょに体験しよう」がテーマです。好奇心、探究心いっぱいの2023年度は佳境に入り5年目に突入です！

写真はJR紀ノ里 西部物流センター あら川の桃選別所にて





油彩画応用科

CD：青山 善道

10月の風景画の野外授業（鶴見緑地公園での写生）での受講生の感想の一部を紹介します。

- 風景画もむつかしいですが頑張ります。 ●出来上がりが楽しみ。
- 描き込むほどによくなっています。 ●今回はみんなに褒められてうれしいです。
- スケッチはそれぞれの個性がでて、楽しい構図がいっぱい。

「油彩画応用科」は、楽しく描くをモットーに、個々の個性を尊重した森先生の御指導で1年間、静物画、人物画（モデルさんを描写）、風景、自由制作などの授業に取り組みます。

それ以外に、自主活動では「山田五郎の大人の教養講座」をYouTubeを見て、有名画家の知られざるエピソードの紹介等、年数回行っています。描くだけでなくクラスで楽しめる様な企画をしております。写真はXmas時に全員サンタ帽をかぶった授業でのスナップです。



初歩の英会話に親しむ科

CD：武知 典子

「初歩の英会話に親しむ科」は、2022年度から始まった新しい講座です。申し込み時から大変人気のある講座で、高倍率を潜り抜けたラッキーな受講生たちの元気で明るいEnglish conversationが助産師会館の教室に響き渡っています。

昨今、英語を勉強するシニア世代はととも増えているそうです。何かを学ぶのに年齢は関係ありませんが、シニア世代が英語を勉強することにはたくさんのメリットがあることが巷で実証されています。

そのひとつは、脳の健康に良いこと。ふたつめは、交友関係が広がり活発になること。一人で英語を勉強するモチベーションを維持するのは結構難しいですが、何かの“動機付け”があれば、新しいことにチャレンジすることが楽しくて仕方ないと感じることでしょう。英語を学ぶのは久しぶりという仲間もたくさんいます。さあ、カレン先生の明るく元気なスピーチを真似して、一緒に英語で話してみましよう！



アウトドア科・アウトドア科アスリートコース



講師 一般財団法人ポジティブアースネイチャーズスクール 代表理事 砂山 真一

現在「アウトドア科」の講師を担当させていただいております。また、令和4年からはさらに「アスリートコース」の講師も担当させていただくことになりました。



学生時代から野外教育活動にボランティアで携わり、その後、海外での経験を活かして、2010年に現在の組織（一般財団法人PENS）を立ち上げ、現在に至ります。事業の多くは子ども向けの事業を中心に活動をしているのですが、大学生の指導員の育成など人を育てることを大切にしています。PENSの理念に「場」作りというものがあります。ただ、場があれば、良いのではなく、そこに人が集い、想いを共有していくことで大切にしたい「場」が育ち、人が育つのだと思います。そんな「場」を「アウトドア科」の皆様とも作って行ければと思っています。自ら楽しみながら仲間と一緒に育つ場を皆さんと作りたいと思います。

エンジョイICT科



講師 大阪電気通信大学 総合情報学部 ゲーム&メディア学科特任講師 森田 浩司

コーダイで授業をさせていただくことになって、9年になります。「IT・イラスト科」から始まり、グラフィックやプログラミングを経て、2022年度から科目名称を「エンジョイICT科」とし、YouTube LIVEやゲーム実況などを含んだ楽しいICTクラスを目指した内容に一新しました。

元々はテレビやラジオ放送の技術的な仕事に従事していたことから、映像作品の中でもイベント的なものや生放送などを得意としています。近年、YouTubeなどの動画SNSの出現により、誰でも映像制作・発信ができるようになりましたが、動画投稿する人は若者や大手メディアに登場するインフルエンサーだけでなく、高齢者やフォロワー数が数千人、数百人の小規模な投稿者もたくさんいます。そんな人たちの中には、「とにかくやってみよう、始めてみよう」の気持ちで活動し始めた人も少なくないと思います。

この科目が「新しいものに興味はあるけど触れるきっかけがない」と感じている人のきっかけになれば幸いです。

YOUTUBER





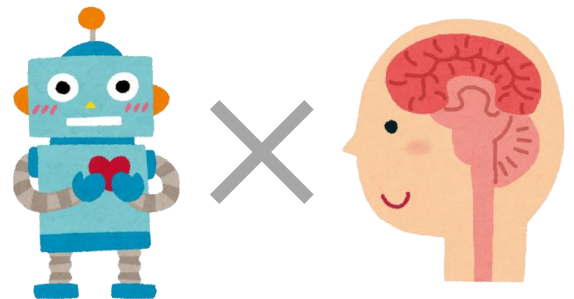
脳・AI・ロボットとこれから迎える未来社会科

講師 元大阪工業大学教授 筒井 博司

私は中学から大学までは体育系、趣味は美術、音楽、文学、専門は工学です。大学を終え電気メーカーに就職すると、大学の講義で捨てていた放射線計測部門で、学位はその放射線でもらいました。

企業時代から脳科学に興味を持ち、脳の仕組みを用いたデバイスの研究も行いました。大学に転職し、最初は機械工学科教授になってマイクロマシンの研究を行い、生体医工学科を新設して細胞から培養して筋肉を作る研究を行い、さらにロボット工学科を新設して“ロボットに脳科学！”をテーマに研究を行いました。大学をリタイヤしてからはセンシング技術応用研究会の会長をしています。一言で言うと、何でもやりの人生です。

芸術も自然科学も、知らないことが解ると脳は喜びます。せっかく生まれた人生、死ぬまでいろいろなことを知りたい。「脳・AI・ロボットとこれから迎える未来社会科」の受講生の方々に、文理を問わずそんな気持ちが伝わり、一緒に楽しめたらと思います。



歴史学近世科

講師 コーダイ講師 清水 秀司

まもなく14年目が終わろうとしていますが、コーダイの講師は2年目からですので、13年間も続けてきたことになります。その間、「歴史学中世科」「近世科」「戦国武将の生き方」「合戦史料」を担当してきました。もともと高校で日本史を教えていましたが、できる限り最新の史料や新聞記事などを取り入れた授業をしております。

例えば、本能寺の変の時、明智光秀は本能寺に行かなかったという記事。斎藤利三の三男の利宗が甥（加賀藩士）に語ったものを加賀藩の関屋政春が書き残したもので、光秀は鳥羽に控えていたようです。本能寺を攻めたのは2千余騎となっていますので、光秀軍は全体で1万3千ですから鳥羽にいた可能性があります。

また、甲府駅南口にある武田信玄公像は、信玄ではなく能登の守護の畠山義統の可能性が高いのですが、山梨県の友人に言うと皆怒ります。長谷川等伯が描いた肖像画を参考に銅像ができたのでしょうか、この時期、等伯は能登から出ていません。楽しく学びましょう。



カメラ芸術科



「峠の夜明け」 大西 俊夫

9年前にコードイを志すも3年連続で受講に失敗後、やっと入学し6年が経ちました。今回OBの方々と撮りたいと思っていた撮影に至りました。



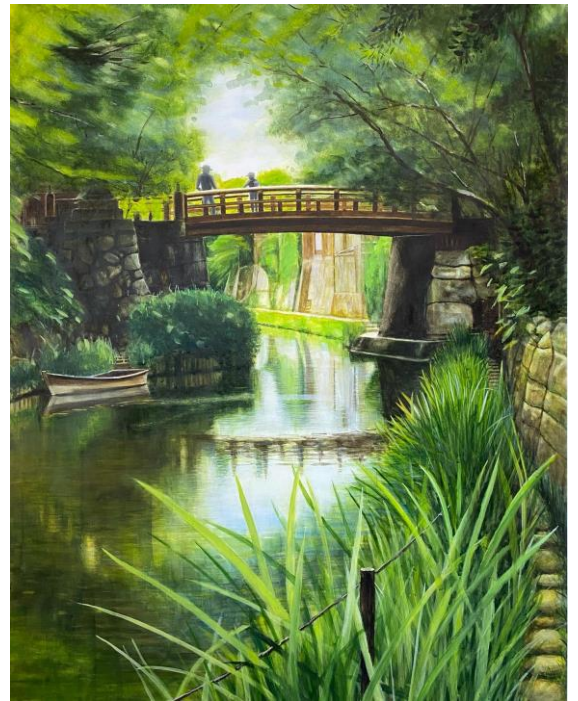
「金剛三昧院多宝塔」 猿田 茂

昨年の高野山は静かな冬を迎えていた。雪が降ったりやんだりして撮影に良い状況であったが、食堂はみな閉まっており、店先の除雪をしていた方の好意で食事をさせていただいた。

水彩画応用科

「交わる」 石黒 大右

今年の6月末、近江八幡堀で描いたF6 (40.9cm×31.8cm) のスケッチを基にF50 (116.7cm×90.9cm) の本面に書き起こしました。絵の中の交わるを探してみてください。



「大阪市環境局舞洲工場」 加藤 秀春

ごみ焼却工場は多数設計担当しましたが、その中でも私の設計業務人生最大の物件です。いつか絵にしてみたいと思い、一点透視図法のベストアングルでチャレンジしました。



IT・デジタルフォトアート科

「水の饗宴」 前山 義孝

日本は水の国、どこに行っても水に出会えます。川・湖・海の自然 … それにマリンスポーツにギャンブルにも水は付き物です。その水をフォトアートのまとめてみました。



「一期一会」 西村 和行

季節の変化を体感しながら、カメラ片手に、花、鳥、動物等との出会いに感動の毎日です。今回は昆虫との一期一会を作品にしました。スマホでのコラージュ作成も得意になりました。

総合文化に親しむ科－川柳

お題：「秋」「歩く」

高大へ歩く坂道友となら

桃井純子

あかね雲散歩の足もひと休み

三笠洋輔

あと十歩のぼれば土手に彼岸花

廣岡晶子



おうちでできる「脳トレ」②

日本アクティブコミュニティ協会
名誉理事 堅本 盛行

高齢者の方々が、元気ですこやかに毎日の生活を過ごしていただけるようになるためには、意識して身体を動かすことが大切だと言われています。特に上肢（両手や肩、腕回り）を活発に動かすことです。このことが脳への刺激を与え、健康長寿につながる動作として推奨されています。

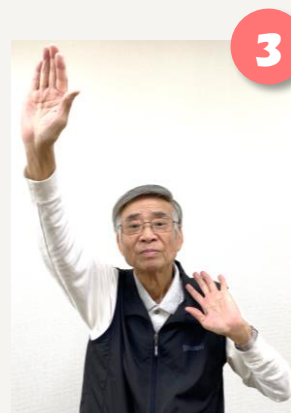
脳を活発にするためには二つのことを同時に行う（デュアルタスク）が良いとされています。手を肩の高さで構えて準備してから行いましょう。



1 手のひらを広げて前向きにし、右手・左手と交互に前に出してはすぐ元に戻す。



2 片手ずつ交互に、腕を横に伸ばしてすぐに戻す。



3 手のひらを前に向け、片手ずつ上に伸ばしてすぐに戻す。



4 片手ずつ体側に沿って下ろして元に戻す。



5 両手で同時にグー・チョキ・パーと声を出しながら繰り返す。



6 片手ずつグー・チョキ、グー・チョキ、グー・チョキ・パーと連続動作をする（できれば足踏みしながら）。

7 椅子に座って、足でするグー・チョキ・パーを行う。
グー：両足を閉じて揃える
チョキ：足を前後にする
パー：両足を肩幅に広げる

テンポよく動作を繰り返し、定期的に続けることで、脳が活性化します。まずは練習してみてください！



令和4年11月度「コーダイ川柳」の特選・準特選を発表します。

今回は、23名の方から121句の投句をいただきました。

ジョイフルとフェスタから特選句と準特選句が出たのはうれしい限りです。

| | | |
|-------|-------------------|-----------------------------|
| お 題 | コーダイ | |
| 特 選 句 | ジョイフルは負けるなよりも転ぶなど | (シニアの健康と医療を易しく学ぶ科 福田 弘子) |
| 準特選句 | フェスタより昭和人には文化祭 | (大阪の史跡探訪科・大坪 茂) |
| 準特選句 | マスク取り認識されずマスクする | (美の世界と美術散歩科・加藤 文子) |

おすすめの映画

『土を喰らう十二カ月』 監督・中江 裕司

～喰らうは生きる、食べるは愛する、いっしょのご飯がいちばんうまい～ (水上勉：原作)

人里離れた信州の山荘で暮らす初老の作家“ツトム”の一年間を季節の移ろいと共に描いた。ドキュメンタリータッチの日々の暮らしを、沢田研二がこの上なく自然に演じている。グループサウンズ時代の大スター“ジュリー”が、渋いロマンズグレイの作家になって！

時折、編集者で愛人の真知子が様子見で訪ねて来て、共に料理を味わう。その姿は実に～喰らうは生きる～そのまま。しっとりした味わいの中に大人のままごとのような楽しさに満ちている。圧巻は義母の葬式、その食膳の豊かさ、自然の奥深さに圧倒される。
(音楽を楽しむ科 徳野美代子)



コーダイのSNSに
アクセスしてみよう！



ホームページ



LINE



Facebook



Twitter

編集後記

明けまして

おめでとうございます。

今年コーダイは15周年を迎えます。

密を避け、検温・消毒・マスク生活
が当たり前のようになりましたが、
出来ることなら、この15周年記念行
事は、コロナ感染を心配することな
く、以前のように自由でおおらかに
開催したいですね。その時は、皆さ
んで大いに盛り上がりましょう。
「れいんぼー」も常に進化を目指
して制作に励みます。本年もどうぞ
よろしくお願いいたします。



SDGsで、 未来をつなぐ

三井住友海上は、安心と安全の提供を通じて、
持続可能な社会の実現に取り組みます



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国首脳に参加のもと、全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。SDGsはすべての国の社会課題を対象とした17のゴールと、その課題ごとに設定された達成基準である169のターゲットから構成されます。このゴールとターゲットによって、包括的で持続可能な社会の構築を目指すものです。

持続可能な地球環境

事業活動における環境負荷低減への取組を進めるとともに、気象災害による被害や損失を軽減するためのサービスの提供を通じて、気候変動の緩和と適応に貢献します。

| 関連する主なSDGs | 主な取組 |
|--------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの普及支援 自然災害リスクモデルにもとづくコンサルティング |

安心して暮らせる社会

SDGsの理念である「誰一人取り残さない」を実践するべく、年齢や性別等に関わらず、高品質なサービスを、より多くのお客さまに提供します。

| 関連する主なSDGs | 主な取組 |
|----------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの支援 先進技術を活用した利便性の高いお客さま対応 |

活力のある経済活動

多様な環境変化にともない発現する新たなリスクへの対応策を提案し、サステナブルな経済活動を支えます。

| 関連する主なSDGs | 主な取組 |
|------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> 次世代モビリティ社会への対応(自動運転車等) 災害に強いまちづくりの支援 |

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上は、レジリエントでサステナブルな社会※をめざします。

※外部環境にシなやかに対応する、持続可能な社会